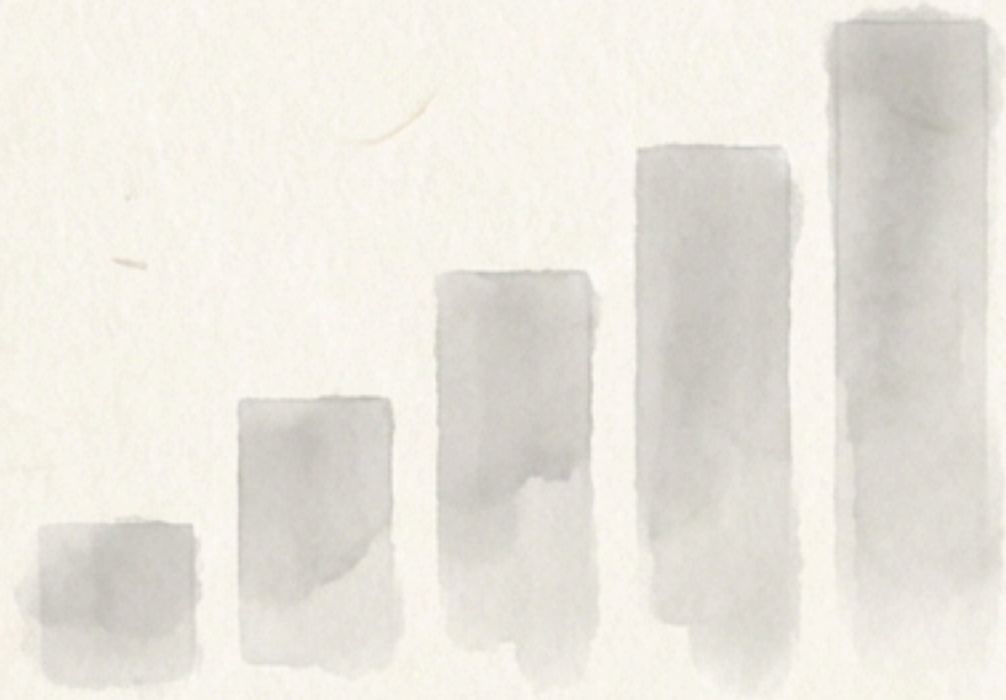


# 富の先にあるもの

本質的な投資家の在り方 | TAOISM



# 世界を変えるのは、どちらの才能か。



お金を増やす天才  
(世界に多数存在)



お金の使い方世界を変える人  
(極めて稀有)

ウォーレン・バフェットは、  
その「両方」を体現した数少ない存在である。

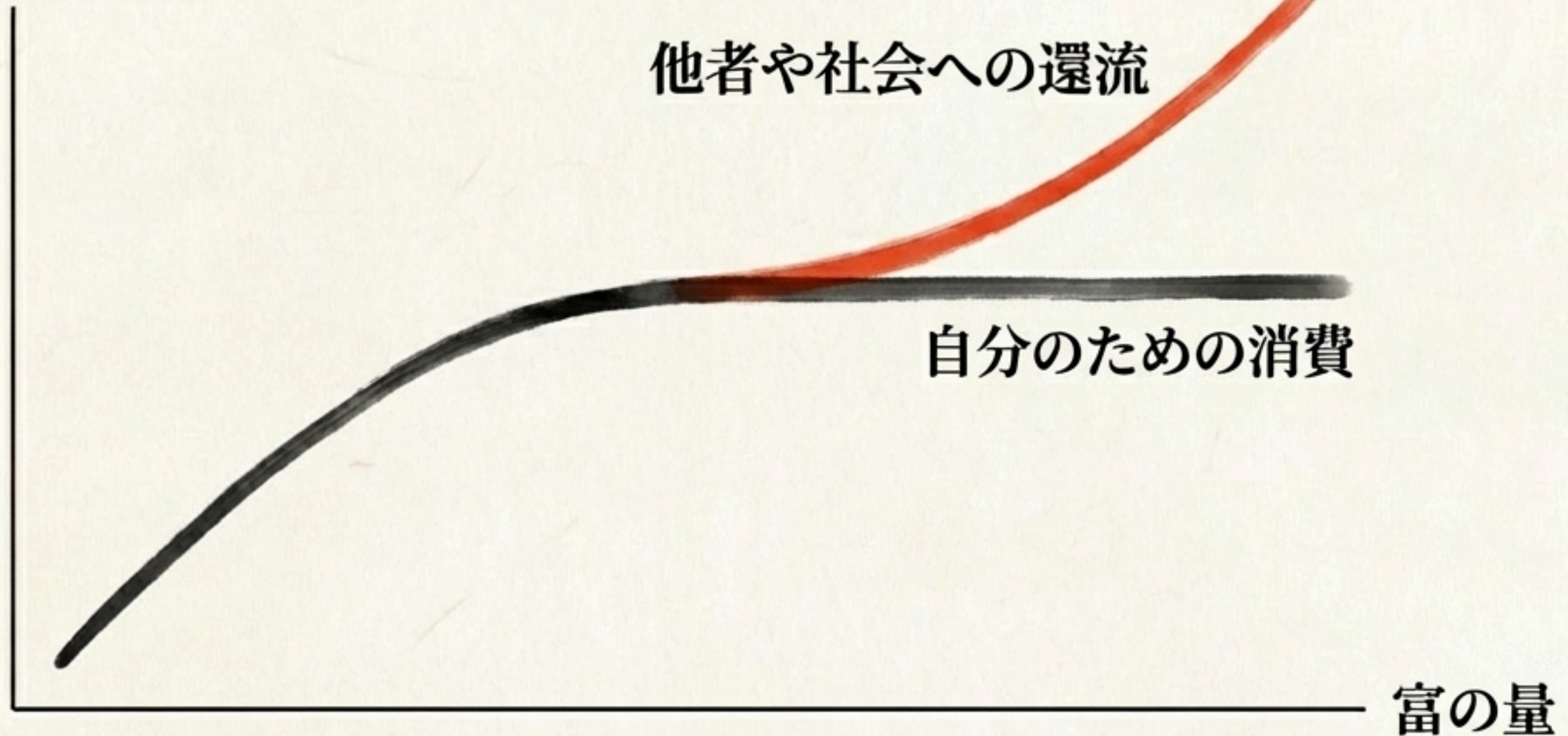
「いくら持つか」ではなく「どう使うか」

「自分と家族は必要なものも欲しいものも失わずに、  
資産の大半を寄付できる。  
そして、それ以上を持っていても幸福は大きく変わらない。」

寄付総額:600億ドル超

# 限界効用と「富の質」の転換点

価値 / 幸福度



TAOISMが捉える「限界効用の理解」。ある一定を超えた富は、自分のために使うよりも、他者や社会に流した方が価値が高くなる。ここで富の質が変わる。

# 美しい「相続の思想」

過剰な資産

適度な制約

資産ゼロ

守られすぎた環境は、  
子どもの可能性を奪う。

「何でもできるだけの資産は残す。  
しかし何もしなくても  
生きていけるほどは残さない。」

何もできない状態は、  
選択肢を奪う。

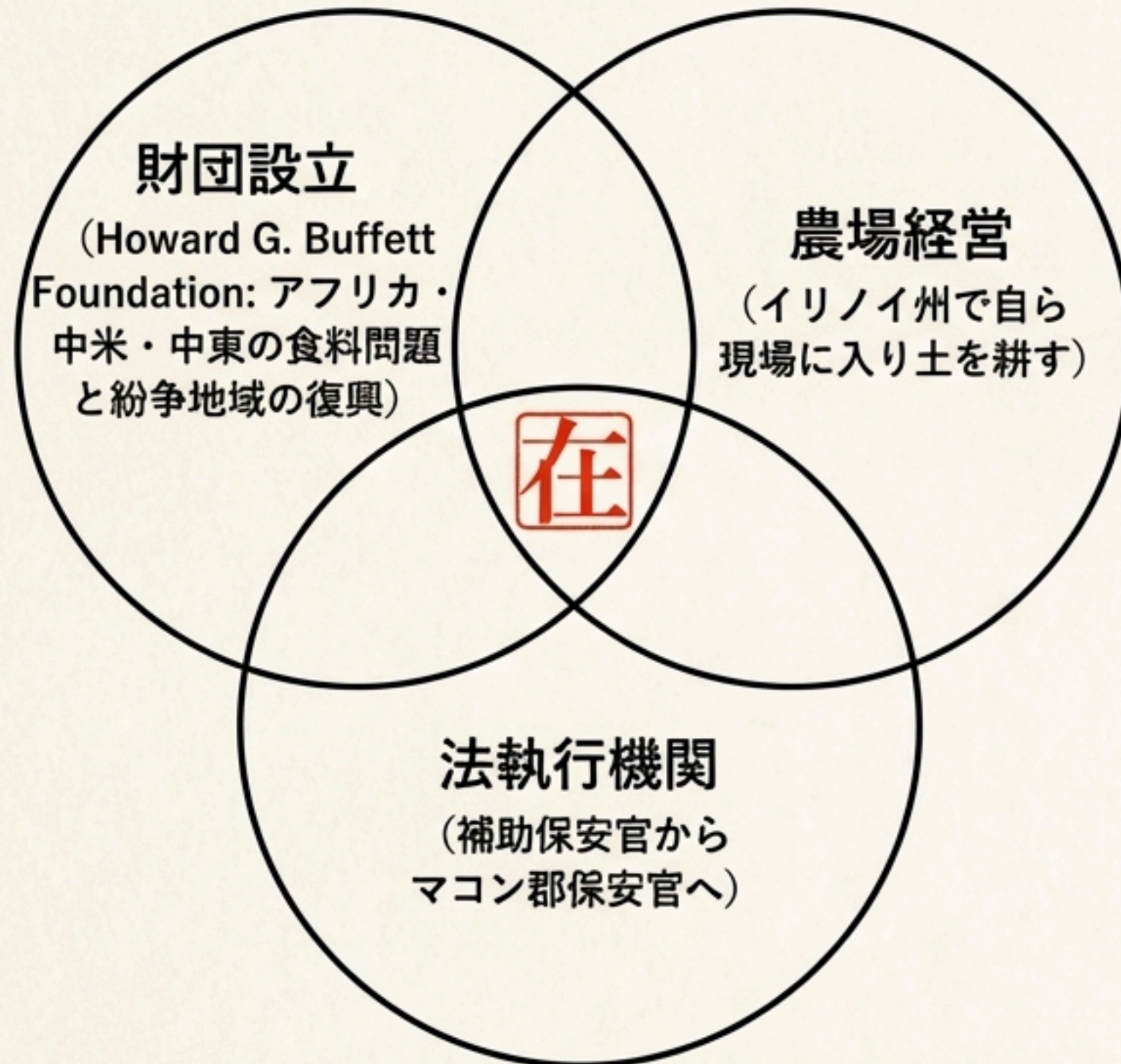
この適度な制約こそが、  
次世代の「主体性」を生み出す。

# 10億ドルを与えられたら、何を選ぶか。



この思想のもとで育った息子、ハワード・グラハム・バフェット。  
彼が選んだのは、自ら土を耕し、作物を育てる現場だった。

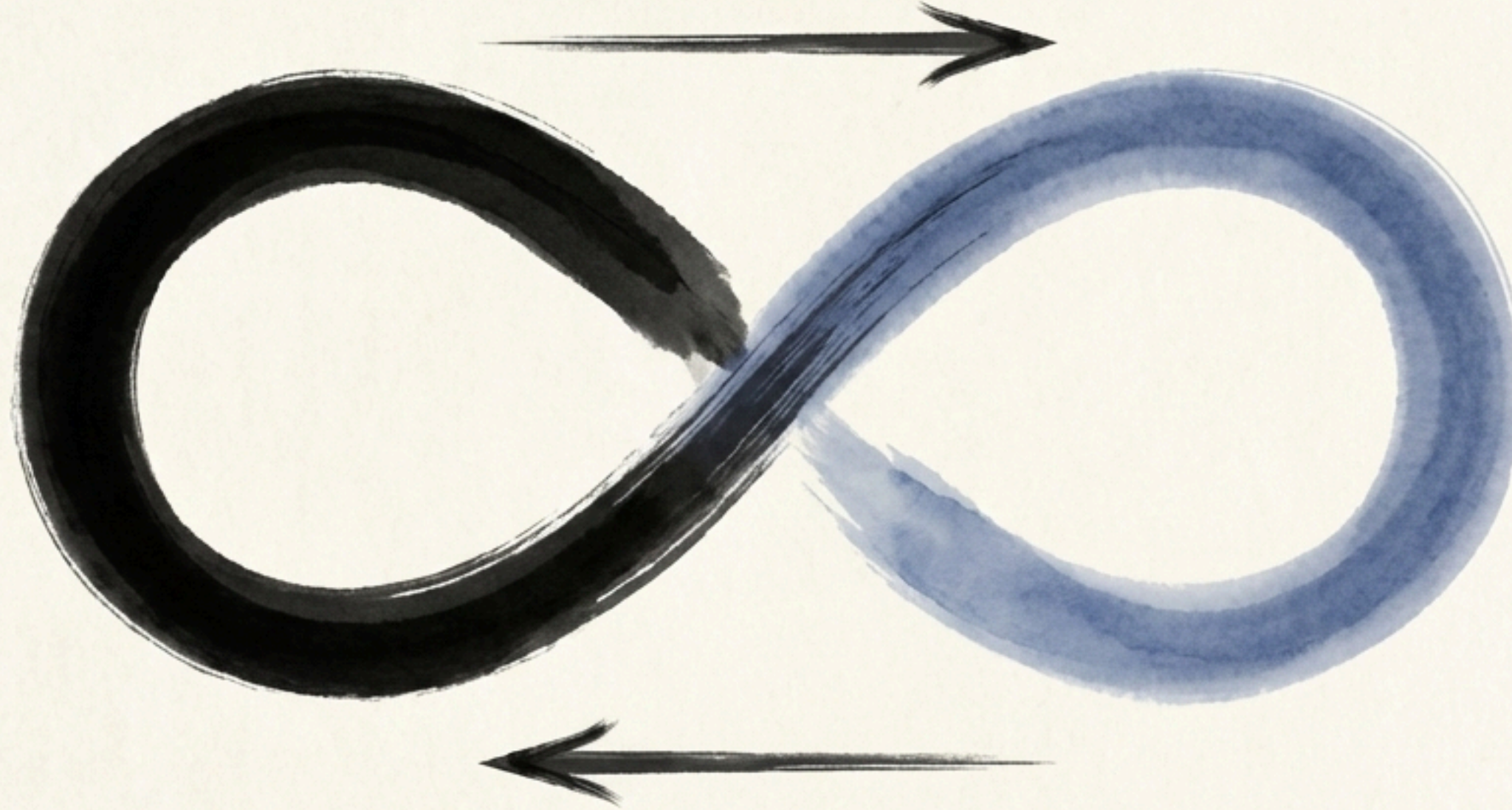
肩書きではなく行動。資産ではなく在り方。



大富豪の息子でありながら、常に最前線の現場に立つ。これが本質的な実践である。

# TAOISMの視点：「相補性」の循環

人のために動くことが、自分のためになる。



自分のために動くことが、人のためになる。

この無限の循環が成立している状態こそが、最も自然で強靱な在り方である。

# 二つのアプローチ、一つの本質

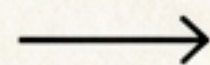
ウォーレン・バフェット (父)

ハワード・バフェット (子)

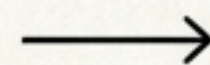
コア能力	本質を「見抜く力」	本質的な「生き方」
アプローチ	資本の最適配置で世界を変える	現場での行動と還流で世界に影響を与える
富はゴールではない。選択の自由を手に入れるための手段である。		

# 投資の再定義

価値を見極める



資源を再配置する



未来を創る

単にお金を増やす行為ではない。  
投資の最終形は、「どこに流すか」という選択に現れる。

# 自由を手にしたとき、人は本質を問われる

楽を選ぶのか。



意味を選ぶのか。

富の先に、何を置くのか。TAOISMはこの問いを突きつける。

# 納得の積み重ねが、人生の質を決める

貢献

安心

名声

快樂

影響

快樂

答えは人それぞれである。  
しかし確かなのは、自分で選んだ道だけが「納得」を生むということ。

名声

貢献

快樂

安心

影響

貢献

その問いに向き合うことこそが、  
本当の投資の始まりである。

その問いこそが、本当の投資の始まりです。